

機械器具 32 医療用吸引器
管理医療機器 電動式可搬型吸引器 36616030

レールダル サクションユニット LSU 4000

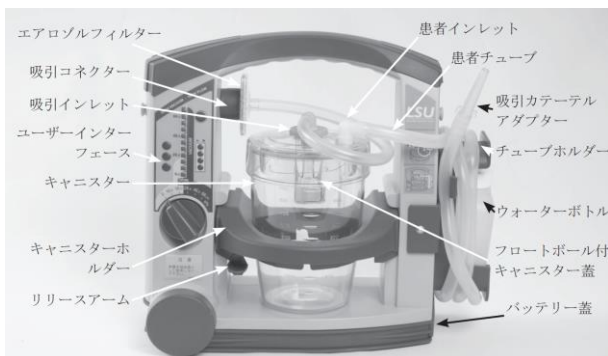
【警告】

- 採血器として使用しないこと。
- 可燃性の液体又は気体が存在する場所で使用しないこと。
爆発又は火災が発生する危険があります。
- 使用・洗浄・廃棄の際には、感染症に対する適切な注意を払うこと。

【形状・構造及び原理等】

<形状>

1. 各部の名称
再使用型キャニスタータイプ



2. 寸法及び重量
寸法 : 315mm(H) × 330mm(W) × 160mm(D)
重量 : 4kg (バッテリーを含む)
3. バッテリー
12V 2Ah ニッケル水素充電電池
4. キャニスター容量
1000mL

<機器の分類>

1. 電撃に対する保護の形式
バッテリー使用時 : 内部電源機器
外部電源使用時 : クラスII機器
2. 電撃に対する保護の程度
BF形
3. 外郭による保護等級
IP34

<電氣的定格>

AC電源 : 100~240V(50/60Hz) 1A
DC電源 : 12~28V 5A

<電磁両立性規格>

IEC 60601-1-2 : 2014 に適合しています。

<作動・動作原理>

モーターの回転がクランクにより往復運動に変えられ、ポンプ・シリンダ内のピストンが往復運動します。この往復運動にともないポンプ・シリンダ内に陰圧が発生し、連続的に吸引が行われます。

【使用目的又は効果】

救急時に口腔咽頭等から固形物や液体を吸引します。

【使用方法等】

詳細については、取扱説明書をご参照下さい。

<使用前の操作>

1. 本体にキャニスターをセットします(ディスプレイ型キャニスタータイプの場合には、キャニスターにディスプレイライナーを取り付けてから、本体にセットします)。
2. 各チューブをキャニスターに接続します。
3. 外部電源で使用する場合は、電源コードを接続します。

<使用中の操作>

吸引圧設定(5段階):

10.6kPa (80mmHg)	16.0kPa (120mmHg)	26.6kPa (200mmHg)	46.6kPa (350mmHg)	66.5+kPa (500+mmHg)
---------------------	----------------------	----------------------	----------------------	------------------------

自動節電機能:

実際の吸引レベルが2分以上にわたって16.0kPa(120mmHg)を超えている場合、モーターの電源が自動的に切れます。

1. 操作ダイヤルを希望する吸引圧設定値に合わせます。装置の電源が自動的にオンになり、吸引が開始されます。装置の電源がオンの時には、電源オンインジケータ及び吸引圧インジケータが点灯します。
2. 自動節電機能が働いて電源が切れている時に通常作動に戻るには、操作ダイヤルを一旦「0」に戻してから、希望の吸引圧設定値に合わせます。
3. 吸引が終了したら操作ダイヤルを「0」に合わせて装置の電源を切ります。

取扱説明書を必ずご参照下さい。

<使用後の操作>

1. 各チューブをキャニスターから取り外します。
2. リリースアームを下に押しキャニスターホルダーを外し、キャニスターを取り出します。
3. キャニスターの吸引物を廃棄します(ディスプレイ部は廃棄します)。
4. 【保守・点検に係る事項】<洗浄・消毒>に従い洗浄・消毒を行います。
5. 組立て後は、必ず機能テストを行い、各部品が正確に取り付けられ、作動することを確認して下さい。

<組立て後の機能テスト>

良好に作動するかどうか、正しく組み立てられているかどうかを確認するために、必ず取扱説明書に記載されている機能テストを実施すること。

*<充電>

バッテリーの充電に関しては、取扱説明書をご参照下さい。

<使用方法等に関連する使用上の注意>

本体の作動及びバッテリーの充電は、温度範囲 0℃～40℃及び湿度範囲 5%～95%RH で行うこと。
取扱説明書の環境条件をご参照下さい。

【使用上の注意】

<重要な基本的注意>

1. 使用中は機器及び患者に常に注意を払うこと。
2. 吸引中は必ず吸引圧インジケータを確認すること。
3. 点検・修理を受ける必要があるかどうかを確認するために、少なくとも1ヶ月に1回は必ず取扱説明書に記載されている機能テストを実施すること。
4. エアロゾルフィルターは、使用ごとに、あるいは少なくともシフトごとに1回は交換すること。なお、本装置が交差汚染の問題がない場所で使用されるとしても、必ず1ヶ月に1回はエアロゾルフィルターを交換すること。

<その他の注意>

1. バッテリーの良好な作動を維持するために、非使用時は連続充電状態にしておくこと。
2. 非使用時に連続充電状態にしておくことが不可能な場合は、必ず月に1回は完全に(フル)充電をすること。また、臨床に用いる前には必ず充電すること。
3. バッテリーを放電状態で保管しないこと。保管する前には完全に充電すること。
4. 使用中は背面の排気口を塞がないこと。排気口を塞ぐと、吸引力が低下し、さらには破損の原因になります。
5. キャニスターからポンプ内への液体のオーバーフローが疑われる場合には、修理を依頼して下さい。
6. 洗浄液等の液体を吸引しないこと。破損することがあります。
7. キャニスター内のフロートボールとエアロゾルフィルターは、必ず取り付けること。ただし、ディスプレイタイプは除きます。
8. エアロゾルフィルターが変色したり湿ったりした場合には、直ちに交換すること。

9. 本体の清拭を行う場合は、電源コードを外部電源から抜くこと。また、液体中に浸さないこと。

【保管方法及び有効期間等】

<保管の条件>

保管温度 : 0℃～40℃
保管湿度 : 5%～95%RH

取扱説明書の環境条件をご参照下さい。

【保守・点検に係る事項】

<洗浄・消毒>

取扱説明書に従い、キャニスターや各チューブ類を個々の部品に分解の上、水ですすぎ洗い、洗浄、消毒を行って下さい。消毒方法として次の3種類の方法が推奨されます。

方法	設定条件	時間	処理後
グルタルアルデヒド	室温中 濃度:2%	60分	蒸留水で完全に すすぎ洗いの 後、乾燥
次亜塩素酸ナトリウム	室温中 濃度:0.5%	20分	
オートクレーブ	最高 121℃	60分	全部品を冷却

修理が必要な場合は、当社の修理窓口にご連絡下さい。

修理窓口 : レールダル・テクニカルセンター

*電話番号 : 0120-309-060 平日 9:00～17:30

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 : レールダル メディカル ジャパン株式会社

**住所 : 東京都千代田区三番町6番地26

住友不動産三番町ビル

電話番号 : 03-3222-8080

お問い合わせ先 : レールダル・ヘルプデスク

*電話番号 : 0120-309-060 平日 9:00～17:30

外国製造業者 : レールダル メディカル AS

(Laerdal Medical AS) (ノルウェー王国)

取扱説明書を必ずご参照下さい。